

② 上高地八右衛門沢堆積工

授賞機関 国土交通省 北陸地方整備局 松本砂防事務所

キーワード 自然環境への配慮、掘り込み形式、観光客への配慮

全建賞審査委員会の評価ポイント

活発な土砂流出に対して、安全な観光利用ができるようにする堆積工の整備。工事可能期間に限られる中、工事用道路のルート選定、大型車の通行調整、工事看板による外国人観光客への配慮等工夫を凝らした点や、景観に配慮して高さを抑え、且つ、確実な効果が見込める堆積工構造とした点が評価された。

1. はじめに

八右衛門沢堆積工が位置する上高地は中部山岳国立公園の特別保護地区にされているほか、文化財としての価値から文化財保護法により特別名勝及び特別天然記念物に指定されており、北アルプスの山並みと清流梓川がつくり出す独自の景観を有する山岳景勝地である。一方で土砂生産・流出の活発な地域であり、支川からの土砂流出は幾度となく県道上高地公園線を寸断させ、観光客が孤立化するなどの被害を及ぼしていた。これらの解消を目的に、八右衛門沢からの流出土砂を捕捉することで保全対象の被害を軽減させることを目的とする堆積工を完成させた。



山岳景勝地「上高地」に位置する八右衛門沢

2. 事業の概要

完成した八右衛門沢第2号堆積工は、土石流や土砂流を捕捉し下流側にある宿泊施設や観光客、県道上高地公園線などの保全対象の被害を軽減するものであり、堆積土砂量は約4,800m³である。配置にあたっては、上高地一帯が中部山岳国立公園の特別保護地区や文化財保護法による特別名勝、特別天然記念物に指定されているため、環境面、景観面に対して配慮が求められるとともに、変更面積を最小限にするなどの制約があった。堆積工は上下流の床固工とこれらを繋ぎ溪岸を保護する護岸工から

構成されており、構造物の高さを抑えるため掘り込み形式により堆砂容量を確保している。これらの工夫により、必要な土砂捕捉機能を有するとともに、観光客等からの視点場である県道から視認しにくい高さに抑え、さらには除石作業を容易にすることに繋がった。



完成した八右衛門沢第2号堆積工の全景

3. 事業の成果

上高地内での施工に際しては、環境面とともに観光客に対する配慮も必要であった。変更面積を極力少なくした工事用道路のルート選定、交通量調査結果をもとにした大型車両の運行時間の調整や、外国人観光客も対象にした工事看板の設置など、上高地特有の事情や特性に合わせた様々な対策を実施した。

堆積工が完成して間もない令和元年8月29日、秋雨前線による豪雨が上高地地域を襲い、八右衛門沢でも土石流が発生した。このときには八右衛門沢第2号堆積工が約1,000m³の土砂を捕捉するなど、砂防施設の働きにより下流への土砂流出を抑制し被害を防いだ。

4. おわりに

令和元年9月3日に開催した竣工式典では、上高地の景観を守りつつ、地域の安全性が高まり観光客等が安心して訪れることが可能になったことに対して地元関係者からも感謝の言葉を頂いたところである。

松本砂防事務所では、今後も景観や自然環境に配慮しつつ地域の安全や国土保全のための取り組みを確実に進めていきたい。

賛助会員 日本工営(株)、大日本コンサルタント(株)